

第4編

部門史

— 事業と業務と組織と人 —

第1章	水道の創設	114
第2章	拡張事業の変遷	115
第3章	整備事業の変遷	127
第4章	給水装置と維持管理	131
第5章	水道料金と加入金	135
第6章	経営改善（経営改革）	141
第7章	電子計算機の導入と図面管理	147
第8章	組織と人	154
第9章	その他	164

*印は用語解説（P.235～）参照

第1章 水道の創設

堺市の水道は、明治43年1月12日に完成し、明治43年4月1日より給水を開始しました。計画給水人口6万人、一日平均給水量18万立方尺（5,000 m^3 ）、一人一日平均給水量3立方尺（83 l ）とし、大和川の伏流水^{*}を水源としました。



堺市水道創設当時の大和川

創設期の堺市の水道の主な施設は、下記のとおりです。

① 水源

大和川の中心に二条の集水枠^{*}を設け、内径10インチの二条の鉄管により煉瓦積集水井^{せい}に水を引き込む。

② 貯水池兼沈でん池

360万立方尺の貯水（約100,000 m^3 、計画水量の20日分）をするため、貯水池兼沈でん池2池を設置。

③ ろ過池

18万立方尺の水量（約5,000 m^3 、計画水量の1日分）を浄水処理するため、ろ過池4池を設置（うち1池は予備池）。

④ 天王貯水池

6万立方尺（1,670 m^3 、計画水量の8時間分）を貯水するため、天王貯水池を設置。

⑤ 配水管

浅香山浄水場から北旅籠町東端、大道を南進、市之町角を左折、大小路筋を東進、天王貯水池に達する配水本管、及び給水区域を4区に分け、消火栓175個を設けた配水枝管を布設。

総事業費は68万5,422円18銭1厘でした。



最初の水道布設工事（大小路を東から撮影 明治42年頃）



浅香山浄水場沈でん池築造工事（明治42年頃）



堺市水道創設当時（明治43年頃）の浅香山浄水場の緩速ろ過池